

オプトアウト

研究課題名	東日本大震災の災害関連死に関する疫学研究
研究実施機関および研究責任者（所属科、職名等）	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 医長 坪井基浩
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 医長 坪井基浩
研究期間	倫理審査委員会承認後～2029年3月31日。
研究の目的と意義	本研究では、東日本大震災における災害関連死に関する匿名化資料を用いて、災害関連死に至る健康上の経過を詳細に解析し、その結果をもとに、災害関連死を予防するための医療介入の具体的な方策を明らかにすることを目的とする
本研究の対象となる方	東日本大震災における災害関連死と認定された被災者の匿名化資料（災害弔慰金支給認定資料）を対象とする。対象となる資料は東日本大震災災害関連死認定資料（仙台市、石巻市、多賀城市、気仙沼市、名取市、岩沼市、山元町、亘理町、岩泉町、盛岡市）748名分である。これらの資料は、一般的に、情報公開制度に基づき、自治体から誰でも入手可能な資料である（石巻市例： https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10102000/1060/1060.html ）。
提供いただく情報	本研究における主たる転帰は東日本大震災における災害関連死亡である。災害関連死の発生日、直接の死亡診断名、死亡の原因となった診断名、年齢、性別、被災場所、死亡場所、匿名化された情報から知り得る範囲で罹災状況、災害後の生活活動およびメンタルヘルスの状況などを抽出し、匿名化データベースを構築する。
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱い際は予め個人情報と無関係な番号を付して情報を管理する。個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院高度救命救急センター 医長 氏名：坪井 基浩 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1-5 電話：048-852-1111